



9月6日 第27回稲刈り体験ツアーinくりやま

主な内容

- 青年部食農教育
- 米出荷開始
- 営農いろは塾
- 青空教室
- 栗山高校生インターンシップ
- 営農指導課のページ
- 生産者部会紹介
- 作業風景...etc

～食農教育～

青年部が実施している食農教育活動が収穫時期を迎え、子供たちの笑顔と共に収穫作業が進められています。



食農教育

実りの秋を迎える



栗山支部：稲刈りの後には餅つきも



春から実施している青年部の食農教育ですが、実りの秋を迎え、各支部で収穫作業が行われております。

栗山支部では、町内と札幌市白石区の親子を対象とした「第27回 稲刈り体験ツアー in くりやま」が9月6日(土)に開催されました。春先に自分たちで植え、実った「ゆめぴりか」の稲刈り体験を部長の清水哲矢さんのほ場で行いました。

春先に実施した田植えツアーの際は、あいにくの雨と低温の中で作業だった為、生育も心配されていましたが、ツアー当日は天候に恵まれ、稲も見事に実っており、子どもたちはとても楽しそうに収穫をしていました。

コンバインによる収穫の実演も行われ、参加した親子からは「乗ってみたい!」「かっこいい!」と、普段目にするこれまでにない光景を見て楽しんでいました。

稲刈り終了後は、南部公民館へ場所を移し、女性部の皆様が愛情を込めて作ってくれた、栗山町産の米と野菜を使用したカレーライスをいただきました。昼食後には毎年恒



三川支部定植：部員に教えてもらいながら



例の「餅つき体験」も実施し、子ども達は自分でついた餅を美味しそうに食べていました。

由仁支部では、9月18日に青年部員の石川勉さん(岩内)のほ場で、由仁小学校5年生を対象に稲刈り体験学習が実施される予定でしたが、雨の影響で開催することができず、残念ながら中止となってしまいました。稲刈り体験ができなかったのは大変残念ですが、11月中旬には新米を使ってカレーライスを作り、みんなで食べる予定です。

三川支部では、三川小学校の全生徒を対象に学年ごとで畑作物の栽培を実施しており、いもや枝豆など、随時収穫作業が行われています。今後は学年ごとに栽培し収穫した食材を使用して、調理実習をする予定となっております。カレーライスをはじめ、ポップコーン、ポテトチップス、チーズリゾットなど定番のものから一風変わったものまで、生徒たちが希望した料理を作る予定となっております。



平成26年産米出荷開始

～収穫の最盛期～



大塚さん

9月4日 栗山地区施設初出荷



石川さん 徳吉野農産さん 熊林さん

9月4日 由仁地区施設初出荷



9月4日、栗山・由仁両地区で施設への受入が開始され、初出荷を記念しJAより出荷者へ記念品が贈呈されました。

初出荷された方々は、栗山地区では大塚史明さん、谷内智隆さん、由仁地区では(株)吉野農産さん、遠藤正臣さん、松島義弘さん、熊林重春さん、長島義昭さん、石川義晃さんの8名の皆様です。

栗山地区については、施設増築により今年度から予約搬入となっており、生産者自ら受付パネルを操作し張込みする体制へと変更となっております。



9月11日

由仁地区個袋初検査



徳吉野農産さん 熊林さん

由仁地区で9月11日、栗山地区で9月17日、個袋の初検査が行われました。

個袋初出荷となった方々は、由仁地区では熊林重春さん、(有)賀集農産さん、栗山地区では、井澤直衛さん、國岡正好さんの4名の皆様です。

雨が降り、雲行きが怪しい中収穫最盛期を迎えましたが、初出荷された個袋は検査員による厳正な検査が行われ、見事全量1等米を果たし、好調なスタートを切りました。



井澤さん 國岡さん



9月17日

栗山地区個袋初検査

馬鈴薯と豆類栽培の基礎

営農いろは塾



分かりやすい説明をする佐藤英夫技術員

8月27日に第4回営農いろは塾が、8月28日に第5回営農いろは塾がそれぞれ開催されました。

第4回の講義は『馬鈴薯栽培の基礎』を生産資材部佐藤英夫営農技術員、『馬鈴薯病害虫の基礎』を営農部尾崎技術アドバイザーより講義を頂き、翌日の第5回の講義については『豆類栽培の基礎』『豆類病害虫の基礎』を同講師より講義が行われました。

各作物の基本的な栽培方法や病害虫の発生要因、それらの対策などについての説明を受け参加者はメモを取るなどし、熱心に聞き入っていました。

ゆめちから2年目に向けて

青空教室

秋まき小麦についての青空教室が、9月4日栗山地区で、5日由仁地区でそれぞれ開催されました。

普及センターの職員を講師に招き、適期播種時期の確認や、土壌改良と排水対策や雑草防除などについての説明が行われました。

また、ゆめちからは耐雪性がきたほなみに比べて低く、雪腐れ病の被害を受けやすい品種とのことから、雪腐れ防除の重要性についても注意点として挙げられました。



メモを取りながら説明を聞く組合員の皆さん

実際の業務を体験

栗山高校生インターンシップ



ダンボールの配達作業を行う学生

9月11日～12日、栗山高校2年生2名がインターンシップ（就業体験学習）で当JAを訪れました。

生産資材部にて、配達業務や肥料の積み込み作業など、普段職員が行っている業務を実際に体験し、仕事の大変さや社会人のマナーなどを学んで行きました。

2人は、慣れない環境で緊張した様子でしたが、それぞれの作業を懸命にこなしておりました。

2日間と短い期間でありましたが、今回の経験で働くことの意味や将来について考えるきっかけになってくれたらと思います。



年金友の会

栗山支部 パークゴルフ大会



開会にあたって挨拶を行う木地会長

8月26日、年金友の会栗山支部のパークゴルフ大会が、会員52名の参加のもと栗山ダムパークゴルフ場で開催されました。

前年度は雨天中止となりましたが、今回は晴天に恵まれ、さわやかな気候で絶好のパークゴルフ日和となりました。

大会は、A・B・Cの3コース（パー99）で行われ、男性は大槻竹夫さん（スコア75）女性は大槻とし子さん（スコア79）が優勝されました。

次回事業予定は、来年1月中旬予定の温泉湯治となっておりますので、たくさんの方々の参加をお待ちしております。

由仁支部 ゲートボール大会



手に汗握る熱戦

8月27日、由仁町東三川グラウンドにて第12回年金友の会由仁支部ゲートボール大会が開催され、9チームが参加しリーグ戦にて勝敗が争われました。

参加者の皆さんは日頃の練習の成果を十分に発揮し、好プレーが続出する展開となり大いに盛り上がる大会となりました。

大会結果は、優勝が古川クローバ会、準優勝が岩内長楽会A、3位が熊本永寿会Bとなっております。

由仁支部 パークゴルフ大会



ボールの行方は!?

9月1日、由仁町薫りの里パークゴルフ場にて、年金友の会由仁支部の第3回パークゴルフ大会が開催されました。

大会には会員27名が参加し、36ホールを男女別の個人戦として競い合い、男性は岩花英昭さん、女性は大槻千恵子さんが優勝されました。

天候にも恵まれ清々しくプレーすることができ、参加者の皆さんは日頃鍛えた腕前を披露すると共に、親睦を深めることも出来、楽しい1日となりました。



営農指導課のページ

「特集―秋まき小麦の雪腐病防除―」

道内で秋まき小麦を栽培するに際し、守るべきいくつかの基本技術があり、各種雪腐病防除のための薬剤散布もその一つですが、この地域での実施率は高くありません（約20％程度？）。

その理由は、①これまで、雪腐病の被害事例が少なかつたため、防除の必要性を感じない、②薬剤散布の適期である根雪直前は、作業機が畑に入れない、などであるかと思っています。

一、状況変化への理解を

当JAでは、昨年から「ゆめちから」に絞って推進することとしています。が、「ゆめちから」の品種特性として、耐雪性がやや劣るため、雪腐病の発生に注意すべきとの評価があります。

事実、これまでの経過の中で雪腐病の被害が見られた事例があるため、

雪腐病の種類	伝染方法			留意点
	種子	土壌	空気	
褐色小粒菌核病		●	●	地下部感染で被害が大
黒色小粒菌核病		●		連作で被害が増加する
紅色雪腐病	●		●	種子消毒で対応できる
褐色雪腐病		●		融雪水の停滞で発生増加
大粒菌核病			●	根雪前の低温経過が誘因

確実な越冬性を確保するには、当地域でも雪腐病への備えが大事だと思います。

二、この地域で発生する雪腐病

北海道では6種類の雪腐病が発生しますが、その発生分布は地域の気象条件によつて差が見られ、この地域では表示した5種類の雪腐病による被害が確認されています。

この中で、褐色小粒菌核病、黒色小粒菌核病、紅色雪腐病、褐色雪腐病の4種は、特に重大な被害を受けた経験がされた方がおりますので、発生に備えた対策が必要です。

各雪腐病の特徴は、以前に配布しました「農作物病害虫図鑑」で確認してください。

① 褐色小粒菌核病

融雪後の枯死葉上に、褐色で2mm位の菌核を形成します。この菌核は枯死葉が乾燥すると風で移動して見つけにくくなります。起生期後、生育不良の株を掘り上げると、地下部葉鞘や根にやや大型の菌核を形成していることもあります。

② 黒色小粒菌核病

融雪後の枯死葉上に、

黒色で1mm位の丸い菌核を形成します。被害株を掘りあげると、地下部



にも菌核が見られ、このような株は完全に枯死していることが多く、大きなパッチ状に枯死するので、被害も大きくなります（写真）。

③ 紅色雪腐病

種子伝染が主体であり、有効な種子消毒剤を選択することで被害は回避できますが、生産履歴への記載内容を拝見すると、選択の誤りが結構見られます。

④ 褐色雪腐病

この雪腐病は、停滞水が発生しやすい転作畑で多発して壊滅的な被害を及ぼすことがあります。

三、薬剤散布の適期幅が見直されま

した

これまでは、雪腐病防除薬剤の散布適期は根雪直前とされ、根雪までに降雪と融雪を繰り返すことが多い当地域では、薬剤散布が見送られることが多かったと思われますが、早期散布でも有効との朗報があります。

農薬の残効性を評価した選択と使用法

対象病害名	褐色小粒菌核病		褐色雪腐病
推奨農薬名	700サイド SC	シルバキ17707 プル	ラマン7077 プル
散布から根雪までの許容降水量	150mm	85mm	150mm
散布法	通常散布	1,000 倍	2,000 倍
	少量散布	250 倍	500 倍
	無人ヘリ	未登録	16 倍
散布時期の目安	根雪始めの約1か月前（10月26日～11月5日）から散布可能		

左の表は、農業試験場の病虫部門が今年から指導に移した内容と、登録現状を整理したものです。推奨農薬であれば、根雪始めの1か月前に散布しても目的が達成されるため、農薬散布が楽になると思われます。

（文責 技術アドバイザー 尾崎政春）

栗山町 耕土改良事業協会



会長 水上 忠信 さん
北学田地区

栗山町耕土改良事業協会は会員33名で、栗山町内の農作業受託作業を実施しております。

米・麦・豆類などの収穫作業や耕起作業を主に受託し、平成25年度の総受託面積は約90haとなっております。

毎年冬に受託作業の申し込みを受け付け、会員内で調整のうえ各会員が所有する機械を用いて作業にあた



国際農機展にて

つています。

高齢化や後継者不足による労働力減少や、昨今の異常気象による適期作業日数の減少などにより、年々その受託面積は増加傾向にあります。また、急な怪我や入院などによって作業が出来ない方の依頼にも迅速

に対応しており、その存在意義は非常に大きなものとなっております。

協会では、毎年視察研修を実施し、会員の知識向上や親睦を深め連携強化に役立てています。今年は、7月に開催された第33回国際農業機械展を視察し、最新の技術や新機種を見る事で農業機械の進化を知ることができました。

また、会員に対して大型

特殊免許やけん引免許、フォークリフト免許などの各種作業免許の取得助成も行っており、オペレーターの技能向上にも力を入れています。

農業経営者の高齢化や経営規模の拡大による作業受託が増加しておりますが、少しでも地域の農業の発展、受託者の依頼に対応できるように活動して参りますのでよろしく願います。



大型コンバインを見学

各地の作業風景など



(株) 吉野農産さん (本三川)
9月3日 稲刈り作業



高橋 智さん (本三川)
9月3日 稲刈り作業

我が家の愛取 (アイドル)



めりあ
飛田 萌里愛 ちゃん (女の子)

平成26年7月14日生まれ

北学田 お父さん：飛田 貴史さん
お母さん： 奈美枝さん

- Q** 一番可愛く感じるときは？
A ニコニコ笑顔でしゃべろうとしてくれる姿です。
Q どんな子に育てて欲しい？
A ブルメリアの花言葉、恵まれた人のように、色んな事に恵まれて欲しいです。



社労士を
招いて

年金相談会予約受付中!!

平成26年10月21日(火)

年金相談会を実施いたします。

※予約が埋まり次第、締め切らせていただきます。

本 所

午前中

9 : 30 ~ 12 : 00

由仁支所

午後より

1 : 30 ~ 4 : 30

※詳しくは店頭までお問い合わせ下さい。

本 所 ☎ 7 2 - 1 3 1 1 由仁支所 ☎ 8 3 - 2 3 2 2

JAからのお知らせ

営業時間のお知らせ

1 1月より営業時間が下記の通りとなりますので、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。

	平日	土・日・祝日
事務所（本所・由仁支所）	8:30～17:00	休み
金融店舗（窓口）	9:00～15:00	休み
ATM	9:00～18:00	9:00～13:00（土曜のみ）
生産資材部	8:30～16:00	休み
由仁営農センター	8:30～16:00	休み
（株）メリーワーク	8:30～17:30	8:30～13:00（土曜のみ）
生活組織購買課由仁事務所	8:30～17:30	8:30～13:00（土曜のみ） ※13時以降及び日・祝は転送電話対応
生活組織購買課継立店	8:30～16:00	休み
栗山給油所・由仁給油所	7:30～20:00	
洗車場	8:00～19:00	

免税軽油に関してのお知らせ

○平成26年度「免税軽油作業日報」の提出について

平成26年度の免税軽油使用に伴う作業日報について、4月～11月の作業終了次第提出についてお願い申し上げます。

なお、作業日報については、提出が義務付けられており、提出がない場合「課税」され次年度の申請が出来ない場合がありますので必ず提出下さいますようお願い申し上げます。

提出期限 平成26年12月3日（水）まで 厳守

○平成27年度 免税軽油申請に係る「作付面積計画書」の提出について

現在の免税軽油制度は、平成27年3月末までの「特例措置」となっています。農林水産省が3年延長の要望を出していますが閣議決定を踏まえ年明け3月の国会で最終決定されることから現時点では不透明な状況とはなっておりますが、平成27年度の免税軽油申請書類作成についてもお願い致したく各農事組合長宛てに免税軽油使用者への「作付面積計画書」を依頼致しております。

つきましては、12月12日（金）までの提出期限となりますので宜しくお願い申し上げます。

お問い合わせ・提出先	ホクレン栗山給油所	72-0680
	ホクレン由仁給油所	83-3700

JAからのお知らせ

※P 10、11 は見開きページです。

1年契約（共済期間を1年とするご契約）で事故があった場合

（例1）20等級のご契約（共済期間：1年、共済期間の初日：平成25年10月1日、等級据置特約：無）で3等級ダウン事故が1件あった場合

計算方法※1 事故有事故適用期間 = 継続前のご契約の3等級ダウン事故件数×3 + 継続前のご契約の1等級ダウン事故件数×1

「事故有」の割増・割引点数が3年間適用されます。



※1 「事故有事故点数」を適用しているご契約（事故有事故適用期間が1～6年のご契約）に事故があった場合は、別に定める計算方法に従い、その継続後のご契約に適用する事故有事故適用期間を決定します。

※2 事故があったご契約の継続後のご契約は、いずれも共済期間を1年として例示しています。

※3 等級点数をおおよその割増・割引率に換算して表しています。

※4 無事故点数は、経過措置期間を設定します。詳細は、下記の「〈等級点数表〉」をご参照ください。

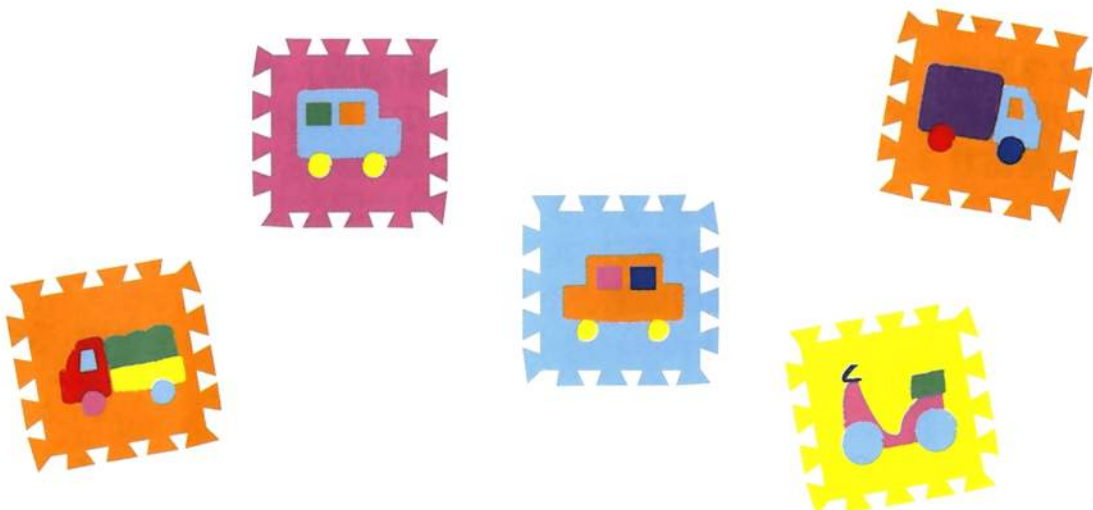
〈等級点数表※5〉

		割 増					割 引														
	等級	1	2	3	4	5	6(F)	7(F)	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
等級点数	共済期間の初日	115%	62%	51%	35%	10%	17%	23%	28%	34%	37%	41%	45%	47%	50%	52%	55%	57%	59%	61%	61%
等級点数	平成25年10月～ (経過措置期間)							28%	40%	41%	43%	46%	47%	48%	49%	50%	52%	55%	57%	59%	61%
無事故点数	平成26年10月～ (経過措置期間)							29%	40%	42%	44%	46%	48%	49%	50%	51%	52%	53%	55%	57%	63%
	平成27年10月～	115%	62%	51%	35%	10%	19%	30%	40%	43%	45%	47%	48%	49%	50%	51%	52%	53%	54%	55%	63%
事故有事故点数	平成26年10月～							20%	21%	22%	23%	25%	27%	29%	31%	33%	36%	38%	40%	42%	44%

※5 等級点数をおおよその割増・割引率に換算して表しています。

⑥ ご注意いただきたい事項

前(旧)契約の共済期間の初日が平成25年10月1日以降の場合で、そのご契約に事故(等級据置特約適用事故、ノーカウント事故を除きます。)が発生しているときは、新制度(事故有事故点数)が適用されます。



JA共済からのご案内（再度ご確認ください）

平成25年10月から自動車共済の仕組が改訂され、昨年もその内容につきまして本誌でご案内をさせていただきました。その中で、1年間の経過期間が設けられ、今年の10月から適用となる項目がございますので、あらためてご案内をさせていただきます。

ご不明な点がございましたら、共済担当まで何なりとお問い合わせください。

本所共済課：72-1406

由仁支所：83-2322

ご契約者の皆さまへ 自動車共済改訂のご案内



拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素よりJA共済に格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

JA共済では、共済期間の初日が平成25年10月1日以降のご契約から、自動車共済の改訂を実施しました。

つきましては、共済期間の初日が平成26年10月1日以降のご契約に適用される制度を以下のとおりご案内いたしますので、ご確認ください。

今後とも、今までと変わらぬご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬 具
農業協同組合
全国共済農業協同組合連合会

等級制度等の改定内容

共済期間の初日が平成25年9月30日以前の等級制度では、前契約における事故の有無にかかわらず、同じ等級であれば、同一の割増・割引点数を適用しています。しかしながら、同じ等級を適用するご契約者さま間で、前契約にて「事故があったご契約者さま」は「事故がなかったご契約者さま」より、継続契約における共済金のお支払い状況が大きい傾向にありました。このため、共済金のお支払い状況を共済掛金に反映できる制度とし、ご契約者さま間の共済掛金負担の公平性を高めることを目的に等級制度を改定しました。なお、共済期間の初日が平成25年10月1日以降のご契約については、等級制度の改定にかかる周知期間とし、共済期間の初日が平成26年10月1日以降より新制度を適用したご契約となります。

また、長期優良契約割引の適用条件を変更します。

① 等級別割増・割引点数の見直し

全ての等級について、直近の共済金のお支払い状況に応じた割増・割引点数の見直しを行っています。また、7（F）、8～20等級については、事故のなかったご契約者さまに適用される「無事故点数」と、事故のあったご契約者さまに適用される「事故有点数」に区分します。

（注）同じ等級であっても、「事故有点数」が適用されるご契約は、「無事故点数」が適用されるご契約と比較して、共済掛金が高くなります。

② 等級すえおき事故の廃止と1等級ダウン事故の新設

従来の「等級すえおき事故（車両の盗難や飛び石等の事故が該当します。）」に該当する事故があった場合、「1等級ダウン事故」として取り扱います。

③ 事故有点数を適用する期間について

上記①の「事故有点数」を適用する期間のことを「事故有点数適用期間」といいます。「事故有点数適用期間」は、3等級ダウン事故があった場合は1件につき「3年」、1等級ダウン事故があった場合は1件につき「1年」を加算し、1年を経過することに前契約の事故有点数適用期間から「1年」を減算します。ただし、「事故有点数適用期間」の上限は「6年」となります。

④ 等級据置特約の廃止

共済期間の初日が平成26年10月1日以降のご契約より、等級据置特約を廃止します。

⑤ 長期優良契約割引の適用条件の変更

共済期間の初日が平成26年10月1日以降のご契約より、適用条件を下記の内容に変更します。

前契約および新契約の等級が20等級で、新契約の事故有点数適用期間が「0年」。

金融部より新農業資金のご紹介

JA農業経営ステップアップローン

- 資金用途：農地取得、基盤整備
- 貸付限度：事業費の範囲内（借入額100万円以上）
- 償還期限：20年以内
- 保証・担保：農業信用基金協会保証
- 貸出利率：変動金利…2.15%

なお、平成26年10月1日から平成31年12月31日までの間に「JA農業経営ステップアップローン」をお借入いただいた方に対して、「JAバンク北海道サポート基金」より利子補給を行います。

【利子補給内容】

借入額100万円以上で借入後5年間、最大1.0%の利子補給

【利子補給を受けた場合の実質金利負担】

店頭金利2.15%+農信基保証料0.48%-利子補給1.0%=**実質金利1.63%**

詳しくは、各窓口までお問い合わせ下さい。

金融部経営相談課 72-1393

由仁支所経営相談係 83-2321

H27年度てん菜作付けのお願い

「経営所得安定対策」は、過去実績に関係なく、その年の生産量に対して交付金が支払われるため、誰でもてん菜を作付することができ、品質・生産性向上が報われる制度になっています。また、H26産から数量払いの見直しも実施されるため、手取り水準も上昇しますので、この機会にてん菜の作付けをご検討いただきたく宜しくお願い致します。

経営の安定化が図れます！

JAそらち南の7中5平均反収5.9t・

平均糖分16.0%の場合、10a当たり10万円程度の粗収入となります。

さらに産地交付金の政策支援もプラスされます！

他作物の生産性向上が図れます！

適切な輪作体系を維持することで土壌病害の抑制や地力の維持増進を図ることが出来ます。

また、てん菜を作付けすると豆類の減収要因の一つであるネグサレセンチュウの密度を下げる効果があります。

てん菜作付けのメリット

◆育苗ハウスや作業機のない方でも出来、苗の紹介を行っています。

またJAでは、移植機や収穫機の貸し出しも行っています。

◆直播栽培では既存の播種機を利用でき、コストを抑えた作付けが可能です。

◆新規の方で直播の播種や収穫作業の手間が無い方はご相談下さい。

日甜ではてん菜の作付けに対し可能な限り支援致しますので、是非ご相談下さい！

◎お問い合わせはこちらまで！

JAそらち南米麦畜産課 72-1416

日甜由仁センター

83-2811

農業用廃プラスチックの集積について

リサイクルでクリーンな農業環境を守る

安全・安心な農畜産物を消費者に提供していく上で、廃棄物の適正処理や有効活用は基本的な取組の一つです。特に農業用廃プラスチックは、法律で保管・運搬・処分などの方法が規制されており、資源としてリサイクルすることが大切です。

つきましては、JAとして、次により農業用廃プラスチックの集積を行うことといたしましたので、ご利用願います。

◆実施日：午前：由仁地区 午後：栗山地区 平成26年11月中旬予定
(施設運営の都合がありますので、実施日については決定次第FAX致します。)

◆集積場所：由仁営農センター計量所にて計量後、指定場所へ集積

◆受付時間：午前9時30分～午後3時30分まで(時間厳守とさせていただきます。)

◆集積品目：

農ビ類 〈塩化ビニール類〉	農ポリ類 〈PO系フィルム〉	その他	〈受け入れ出来ないもの〉
・ハウスビニール ・ロールパック ・スタックビニール ※農ビと印字されているもの	・ラップフィルム・フレコンバック ・肥料用ポリ袋・ハウスPO系フィルム ・マルチフィルム・育苗箱 ・ポリポット・POロープ等 ・不織布・農薬ボトル等 ・PPTフイン・農薬ポリ袋 ※ノーポリまたは「農PO」[PO] [PE]と印字されているもの	・塩ビ管 ・塩ビ系波トタン ・ポリ系容器タンク ・ビニールホース ・灌水チューブ ・各種ネット類 (金具付き不可)	・硬質系塩ビ類 ・FRP系容器タンク ・家庭から出る廃プラ ・生分解性マルチ ・スタイロフォーム ・発砲スチロール ・長靴 ・カッパ類・ゴム製品

◆処理単価：18円/kg程度(運賃込み)

※運賃を含んでいるため、処理単価の前後が予想されますが、その旨御了承下さい。

※11月末に7月分と11月分を合算して引き落とす予定です。

◆注意事項

- ・農ビ類・農ポリ類は必ず分けて折り畳み、紐で縛って下さい。大きさ、重さは一人で持てる程度にして下さい。
- ・肥料袋は肥料袋のみで結束して下さい。
- ・育苗箱は持ちやすい大きさに結束して下さい。
- ・農薬空ボトルはキャップを外し、中の農薬を水洗い後、完全に空にして下さい。以上の処理がされていない農薬ボトルは受入できません。
- ・金属や石、砂などの混入物は取り除き、乾燥させて土を落として下さい。土や水分を多く含んでいると重量が増え処理費用も割高になります。

廃プラの適正な分別・処理に努めましょう

〈問い合わせ先〉JAそらち南 営農部農業振興課(TEL 0123-72-1408)

由仁営農センター(TEL 0123-87-3312)

第9回理事会報告

日時 平成26年9月17日（水）午後7時00分
より第9回理事会が開催され、原案通り承認されました。

【審議事項】

議案第1号
JAGグループ北海道改革プラン意見について

第10回理事会報告

日時 平成26年9月30日（火）午後4時00分
より第10回理事会が開催され、原案通り承認されました。

【報告事項】

農業委員会報告
農政対策
各部報告

【審議事項】

議案第1号
反社会的勢力等への対応に関する規程の改正について

議案第2号
土地賃貸借契約の締結について

議案第3号
役員視察研修の実施について

議案第4号
畜産リース事業に係る転貸貸付について

議案第5号
資金の貸付について

行事予定

10月

・12日

青年部南部ブロックスポーツ大会

・13日

体育の日

・20日

第7回監事会（予定）

・24日

第11回理事会（予定）

・25日～31日

青年部海外農業視察研修

11月

・10日～14日

第3四半期監事監査（予定）



組合員の動き

▽正組合員戸数

▽組合員数

正組合員数

うち法人

准組合員数

うち団体

正組合員戸数	正組合員数	うち法人	准組合員数	うち団体
3, 870戸	1, 493名	1, 57名	1, 729名	57名

（8月31日現在）

★おくやみ申し上げます。

亡くなった方

年齢

住所

氏名	年齢	住所
大平 義輝	95歳	栗山町円山
島 敏男	85歳	由仁町古山
清水 ナツエ	94歳	由仁町西三川
植田 妙子	83歳	栗山町湯内
西村 武夫	88歳	由仁町岩内

編集後記

栗山で行われた大きな祭りも、毎年夜になると寒さを感じ秋の訪れを実感します。夏の名残で薄着をして眠ると、朝方が寒くて目が覚めてしまいます。風邪を引いてしまふのではないかと思います。自分の体は思っているよりも丈夫で今のところ元気に毎日を過ごしています。

時の流れは早く、今年もあと2か月となりましたね。稲刈りは早くから始まりましたが、雨が降ることが多く天候に農作業が左右される事が多かったのではないのでしょうか。これからは、天気が良くなり農作業もスムーズに出来ることを願っています。

管理課 山崎 麻菜美



そらち南 くみあいだより

2014 10月号 Vol. 69

■発行 2014. 10. 10（毎月1回）

〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目104番地
発行／そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL／0123-72-1313 FAX／0123-72-3364
HPアドレス <http://www.ja-sorachiminami.or.jp>
メールアドレス info@ja-sorachiminami.or.jp
印刷／山東印刷